

昔の道は、今の往來とは少しく異なり、中山道のうちへかゝりて、美濃路をへて尾張へ出て、今之道を通りて、駿河より足柄關を越て、小田原の下へおりたり、その比の紀行、太平記等に出るさまにて考られたり、

太平記卷二俊基朝臣再關東下向之事文繁けれど此に略す、帝都 相坂關 打出濱 水海 勢
田橋 宇根野 守山 篠原 鏡山 老曾の森 番馬 醒井 柏原 不破關 美濃 尾張 热
田八劍 鳴海 遠江 濱名橋 池田宿 天龍河 小夜中山 菊川 大井川 島田 藤枝
岡部 宇都山 清見潟 三保ヶ崎 奥津 かん原 富士 浮島ヶ原 車返 竹下道 足柄
峠 大磯 小磯 小ゆるぎ 鎌倉

右元徳二年七月十一日に、六波羅へ召とられ、關東へ下向あれば、十二三日の比、京を出られしと見ゆ、末に七月廿六日の暮程に、鎌倉に著給ひしよし見ゆれば、十五六日の日數にて下られしなり、

〔大乘院記録〕應仁二年十二月十五日、自京都至鎌倉宿次第、

大津 三里	勢田 五十町	野路 二里	守山 二里	鏡 二里
武佐 一里	蒲生野 二里			
馬場 五十町	佐目伽井 五十町	柏原	居増 一里	小野 五十町
垂井 二里	赤坂 三里		墨股 二里五十町	四十九院 二里
萱津 三里			黒田 <small>尾張三町</small>	
熱田 五十町			沓懸 五十里	
作岡 五十町			赤坂 二里	
矢波木			八橋 <small>三河里</small>	
今橋 五十町			渡津 一里	
袋井 二里	橋本 五里	山中 五十町	國府 二里	
	遠江國			
	西坂 五十町	匹馬 二里	鎌塚 五十町	
		池田 五十町		
		菊町 一里		